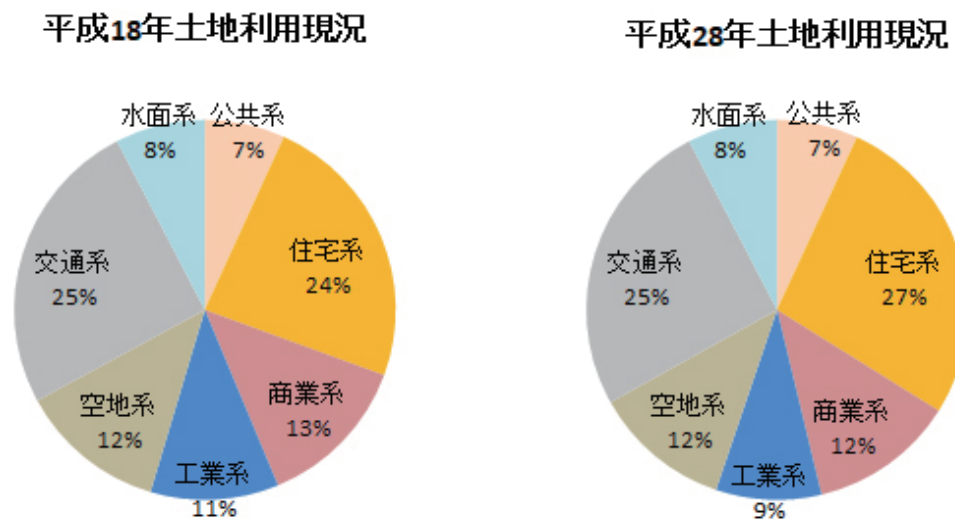
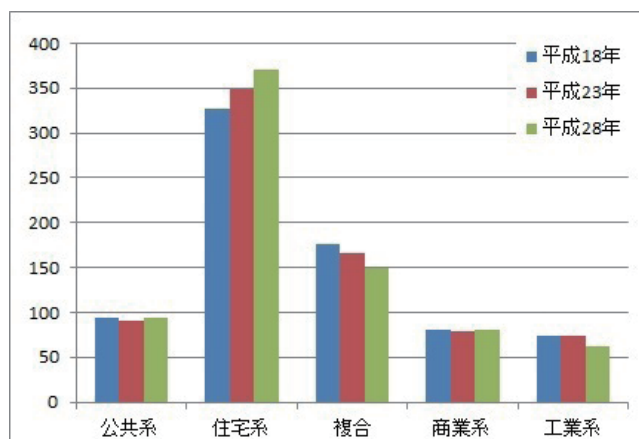


図 土地利用構成の変化



出展：平成 23・28 年墨田区土地利用現況調査

図 土地利用の種別（3 時点比較）



出展：平成 18・23・28 年土地利用現況調査

図 商業・工業系土地利用の分布

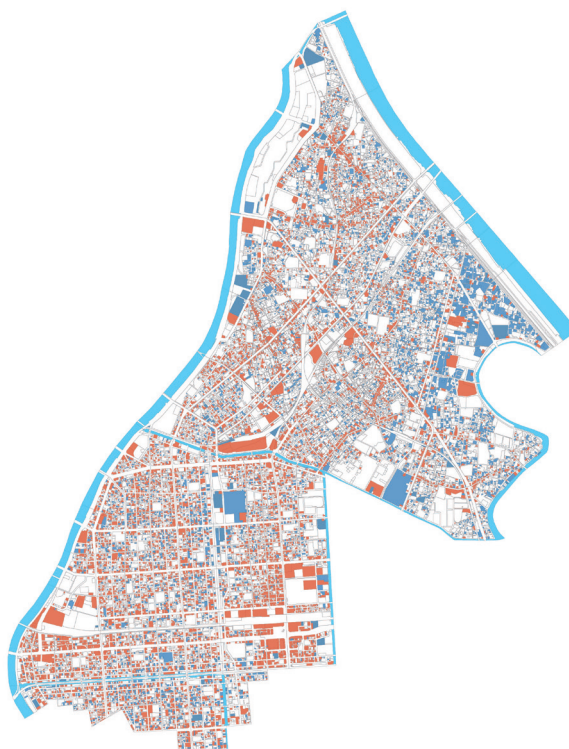
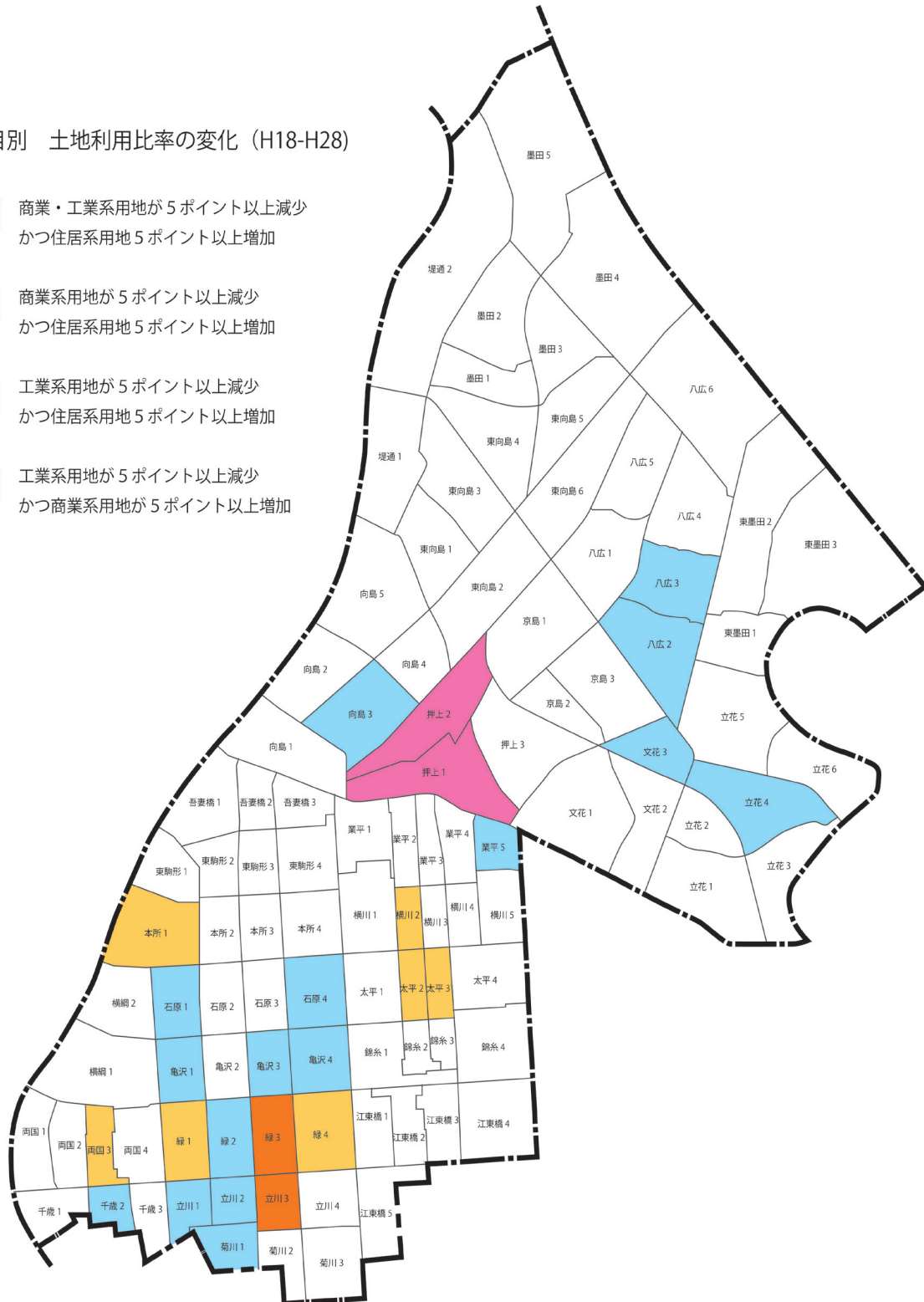


図 土地利用構成の変化が大きかった町丁目

町丁目別 土地利用比率の変化 (H18-H28)

- 商業・工業系用地が5ポイント以上減少
かつ住居系用地5ポイント以上増加
- 商業系用地が5ポイント以上減少
かつ住居系用地5ポイント以上増加
- 工業系用地が5ポイント以上減少
かつ住居系用地5ポイント以上増加
- 工業系用地が5ポイント以上減少
かつ商業系用地が5ポイント以上増加

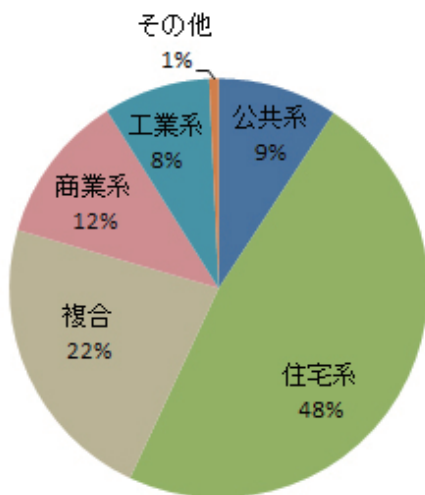


< 建物用途 >

- ・建物用途別の利用状況を6類型にまとめてみると、全体的に住宅系の利用が最も多くなっている。
- ・建築面積ベースでは住宅系に次いで「住商併用建物」「住居併用工場」の利用が多くなっているが、延床面積別にみると、住宅系と商業系の割合が多くなっており、これらの用途で高度利用されていることがうかがえる。
- ・個別用途の傾向では、住宅系のうち独立住宅の約2倍の床面積を集合住宅が占めている。
- ・マンション建築は分譲・賃貸とも区内に広く立地している。
- ・また、ほとんどの町丁目の中に何らかの公共系（官公庁・教育文化・厚生医療・供給処理施設）建物があるが、立花・文花周辺は少ない。
- ・近年の建築動向を平成23年から26年度の建築確認データで確認したところ、北部での建築活動は盛んで、特に押上・東向島・八広で活発な建築活動が行われた。南部では、緑・江東橋で共同住宅の高度利用が進んでいる。

図 建物用途別床面積の比較（建築面積・延べ床面積）

平成28年建物用途別(建築面積)



平成28年建物用途別(延床面積)

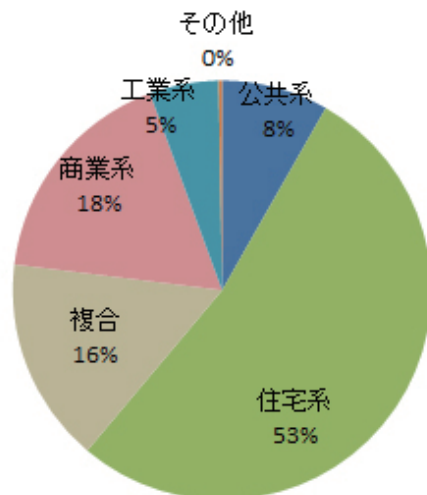
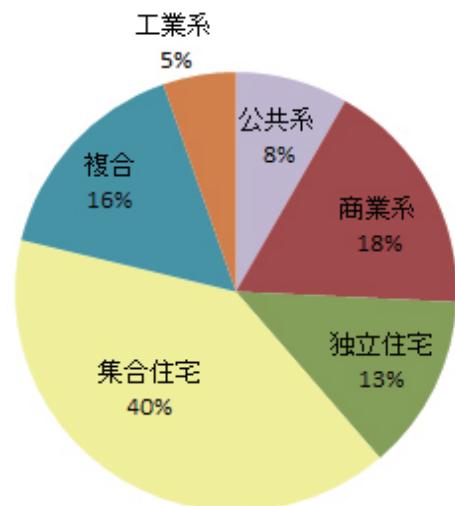


図 建物用途別建築

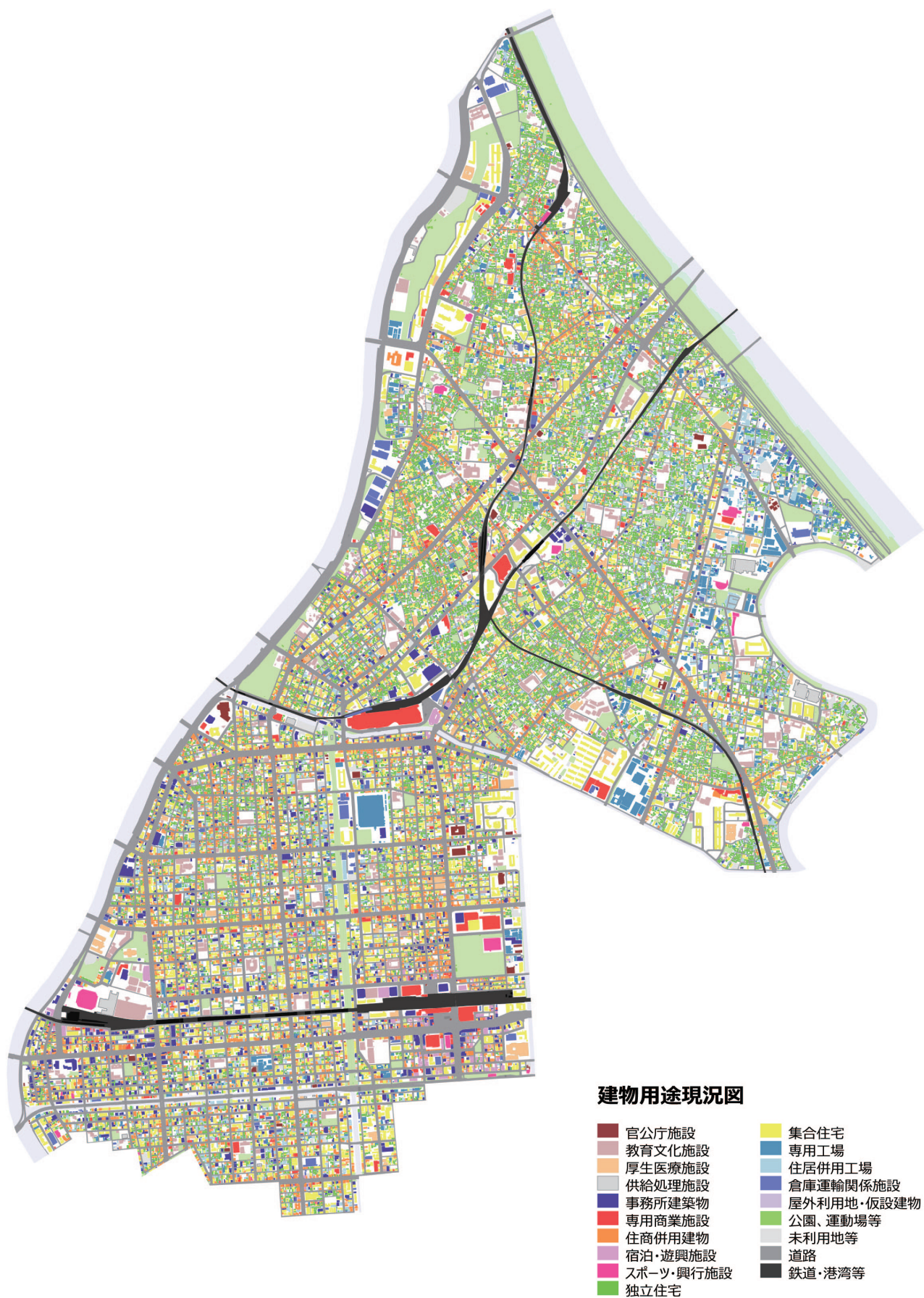
	棟数	建築面積	延床面積	平均規模
公共系	1,081	430,991	1,554,775	1,438
	2.3%	9.2%	8.2%	—
住宅系	28,159	2,224,839	9,986,684	355
	60.2%	47.7%	52.9%	—
複合	13,330	1,049,567	2,988,731	224
	28.5%	22.5%	15.8%	—
商業系	2,328	539,954	3,293,669	1,415
	5.0%	11.6%	17.4%	—
工業系	1,724	382,559	1,004,142	582
	3.7%	8.2%	5.3%	—
その他	188	34,416	51,681	275
	0.4%	0.7%	0.3%	—
総計	46,810	4,662,327	18,879,682	403
	100.0%	100.0%	100.0%	—

注：平均規模＝延床面積／棟数



出展：平成28年墨田区土地利用現況調査

図 建物用途現況（細分類）



出展：平成 28 年墨田区土地利用現況調査

図 建物用途現況（4分類）

